

名古屋港管理組合公報				平成29年 4 月21日 (金曜日) 号外第311号																																	
目次																																					
○名古屋港管理組合職員採用試験公告				1																																	
公 告																																					
名古屋港管理組合公告 名古屋港管理組合職員採用試験を次のとおり実施します。 平成29年 4 月21日 名古屋港管理組合 平成29年度名古屋港管理組合職員第 1 回採用試験（大学卒程度）、名古屋港管理組合職員（海事）採用試験及び名古屋港管理組合職員（民間企業等職務経験者）採用試験 1 試験の種類・試験区分・採用予定人員・受験資格等 <table><tr><th>試験の種類</th><th colspan="2">試験区分</th><th>採用予定人員</th><th>受験資格</th></tr><tr><td rowspan="5">第 1 回</td><td>事務</td><td>行政</td><td>5 名程度</td><td rowspan="5">次のいずれかに該当する方 (1) 昭和62年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方 (2) 平成 8 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した方又は平成30年 3 月31日までに卒業見込みの方 ※(2)に該当する方は第 2 回採用試験（高校卒程度）の受験申込みはできません。</td></tr><tr><td rowspan="4">技術</td><td>土木</td><td>3 名程度</td></tr><tr><td>建築</td><td>1 名程度</td></tr><tr><td>機械</td><td>1 名程度</td></tr><tr><td>電気</td><td>1 名程度</td></tr><tr><td rowspan="2">海 事</td><td colspan="2">海事Ⅰ種（航海）</td><td>2 名程度</td><td>昭和57年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、3 級海技士（航海）以上の免許（船橋当直限定免許を除く。）を取得している方又は平成30年12月31日までに取得見込みの方</td></tr><tr><td colspan="2">海事Ⅰ種（機関）</td><td>2 名程度</td><td>昭和57年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、3 級海技士（機関）以上の免許（機関当直限定免許を除く。）を取得している方又は平成30年12月31日までに取得見込みの方</td></tr><tr><td>民間企業等 職務経験者</td><td colspan="2">情報処理</td><td>1 名程度</td><td>昭和52年 4 月 2 日から平成 4 年 4 月 1 日までに生まれた方で、民間企業等において情報処理に関する職務経験が直近 5 年中に 3 年以上あり（※）、かつ平成13年度春季以後、情報処理の促進に関する法律に基づくITストラテジスト試験、システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報セキュリティスペシャリスト試験、ITサービスマネージャ試験、システム監査技術者試験、システムアナリスト試験、アプリケーションエンジニア試験、テクニカルエンジニア（ネットワーク）試験、テクニカルエンジニア（データベース）試験、テクニカルエンジニア（システム管理）試験、テクニカルエンジニア（情報セキュリティ）試験のいずれかに合格している方</td></tr></table>					試験の種類	試験区分		採用予定人員	受験資格	第 1 回	事務	行政	5 名程度	次のいずれかに該当する方 (1) 昭和62年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方 (2) 平成 8 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した方又は平成30年 3 月31日までに卒業見込みの方 ※(2)に該当する方は第 2 回採用試験（高校卒程度）の受験申込みはできません。	技術	土木	3 名程度	建築	1 名程度	機械	1 名程度	電気	1 名程度	海 事	海事Ⅰ種（航海）		2 名程度	昭和57年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、3 級海技士（航海）以上の免許（船橋当直限定免許を除く。）を取得している方又は平成30年12月31日までに取得見込みの方	海事Ⅰ種（機関）		2 名程度	昭和57年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、3 級海技士（機関）以上の免許（機関当直限定免許を除く。）を取得している方又は平成30年12月31日までに取得見込みの方	民間企業等 職務経験者	情報処理		1 名程度	昭和52年 4 月 2 日から平成 4 年 4 月 1 日までに生まれた方で、民間企業等において情報処理に関する職務経験が直近 5 年中に 3 年以上あり（※）、かつ平成13年度春季以後、情報処理の促進に関する法律に基づくITストラテジスト試験、システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報セキュリティスペシャリスト試験、ITサービスマネージャ試験、システム監査技術者試験、システムアナリスト試験、アプリケーションエンジニア試験、テクニカルエンジニア（ネットワーク）試験、テクニカルエンジニア（データベース）試験、テクニカルエンジニア（システム管理）試験、テクニカルエンジニア（情報セキュリティ）試験のいずれかに合格している方
試験の種類	試験区分		採用予定人員	受験資格																																	
第 1 回	事務	行政	5 名程度	次のいずれかに該当する方 (1) 昭和62年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方 (2) 平成 8 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した方又は平成30年 3 月31日までに卒業見込みの方 ※(2)に該当する方は第 2 回採用試験（高校卒程度）の受験申込みはできません。																																	
	技術	土木	3 名程度																																		
		建築	1 名程度																																		
		機械	1 名程度																																		
		電気	1 名程度																																		
海 事	海事Ⅰ種（航海）		2 名程度	昭和57年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、3 級海技士（航海）以上の免許（船橋当直限定免許を除く。）を取得している方又は平成30年12月31日までに取得見込みの方																																	
	海事Ⅰ種（機関）		2 名程度	昭和57年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、3 級海技士（機関）以上の免許（機関当直限定免許を除く。）を取得している方又は平成30年12月31日までに取得見込みの方																																	
民間企業等 職務経験者	情報処理		1 名程度	昭和52年 4 月 2 日から平成 4 年 4 月 1 日までに生まれた方で、民間企業等において情報処理に関する職務経験が直近 5 年中に 3 年以上あり（※）、かつ平成13年度春季以後、情報処理の促進に関する法律に基づくITストラテジスト試験、システムアーキテクト試験、プロジェクトマネージャ試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、情報セキュリティスペシャリスト試験、ITサービスマネージャ試験、システム監査技術者試験、システムアナリスト試験、アプリケーションエンジニア試験、テクニカルエンジニア（ネットワーク）試験、テクニカルエンジニア（データベース）試験、テクニカルエンジニア（システム管理）試験、テクニカルエンジニア（情報セキュリティ）試験のいずれかに合格している方																																	

次のいずれかに該当する方は受験できません。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (3) 名古屋港管理組合職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (4) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

(※) 民間企業等において情報処理に関する職務経験が直近5年中に3年以上ある方

- ・ 「民間企業等において情報処理に関する職務経験」とは、会社員、自営業者、公務員等として、情報システムの開発、管理、運用等の職務に常勤（注1）で従事することをいいます。
 - ・ 平成29年4月1日現在で情報処理に関する職務経験が直近5年（平成24年4月1日から平成29年3月31日まで）中に3年以上従事している必要があります。
 - ・ 情報処理に関する職務経験が複数の場合は通算することができますが、同一期間内の重複した職務経験は、一方のみを通算します。
 - ・ 最終合格後に職務経験の確認を行いますが、受験資格を満たさないことが判明した場合や受験申込書の記載事項に虚偽があった場合は、合格を取り消すことがあります。
- （注1）「常勤」とは、フルタイムの正規社員又は当該事業所におけるフルタイムの正規社員と週当たりの勤務時間が同じ勤務形態で就業していることをいいます。

2 第1次試験

(1) 第1回及び海事

① 試験日程及び試験会場

試 験 日 程		試 験 会 場 (10ページ参照)
第1日目	平成29年6月25日（日） 午前8時45分開場、午前9時15分着席・出席点呼	名古屋港管理組合本庁舎 名古屋港湾会館
第2日目	平成29年6月26日（月） 午前9時30分開場、午前9時45分着席・出席点呼	

試験会場は、変更になる場合があります。変更後の試験会場は、受験票とともに返信用封筒に同封してご案内します。

② 試験科目・時間・内容等

	試験科目（配点）	時 間	内 容
第1日目	教養試験（80点）	9：45～11：45	公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験 [択一式・40問]
	専門試験（120点）	13：25～15：25	各試験区分に応じた出題分野（※1）の専門的な知識をみる試験
	適性検査（－）	15：50～16：40	職員として必要な素質及び適性をみるための簡単な検査
第2日目	論文試験（100点）	10：00～11：30	与えられた課題に対する記述式試験
	面接試験（100点）	13：10～17：00	数人のグループでの面接

- ・ 問題は活字印刷文による出題です。
- ・ 受験上の配慮を必要とされる方は申込手続時にご相談ください。
- ・ なお、いずれかの試験科目において一定の基準に達しない方は、他の試験科目の成績にかかわらず不合格となります。（「適性検査」を除く。）

※ 面接試験については、終了時間が延びる場合があります。

(※1) 専門試験出題分野

試験区分		解答方法	出題分野
事務	行政	択一式・40問	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
技術	土木	択一式・30問	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画（都市計画を含む。）、材料・施工
	建築	択一式・30問	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画（都市計画、建築法規を含む。）、建築設備、建築施工
	機械	択一式・30問	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	択一式・30問	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
海事	海事Ⅰ種（航海）	記述式	航海、運用、海事法規
	海事Ⅰ種（機関）	記述式	機関（その1、その2、その3）、執務一般（英語を除く。）

(2) 民間企業等職務経験者

① 試験日程及び試験会場

試験日程	試験会場 (10ページ参照)
平成29年6月25日（日） 午前8時45分開場、午前9時15分着席・出席点呼	名古屋港管理組合本庁舎 名古屋港湾会館

試験会場は、変更になる場合があります。変更後の試験会場は、受験票とともに返信用封筒に同封してご案内します。

② 試験科目・時間・内容等

試験区分	試験科目（配点）	時間	内容
情報処理	教養試験（80点）	9：45～11：45	公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験 [択一式・40問]
	論文試験（100点）	13：25～14：55	情報処理に関する与えられた課題に対する記述式試験
	適性検査（一）	15：10～16：00	職員として必要な素質及び適性をみるための簡単な検査
	面接試験（100点）	16：20～17：50	数人のグループ又は個人での面接

- ・ 問題は活字印刷文による出題です。
 - ・ 受験上の配慮を必要とされる方は申込手続時にご相談ください。
- ※ 面接試験については、終了時間が延びる場合があります。

(3) 第1次試験の合格者発表（全試験区分共通） 平成29年7月12日（水）（予定）

本庁舎掲示板（本庁舎北西角）に約1週間、合格者の受験番号を**掲示**するとともに合格者に**通知**します（**不合格者には通知しません。**）。また、名古屋港のホームページ（<http://www.port-of-nagoya.jp/>）でも同日午前10時頃から約1週間、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず掲示又は通知で確認してください。なお、電話等による可否に関する問い合わせにはお答えしておりません。

(4) 試験会場内における携帯電話等の通信機器の操作や、一切の情報の送受信等を禁止します。試験会場に到着する前に、

通信機器の電源を切り、必ずかばんの中にしまってください。また、携帯用録画・録音機等による録画・録音等の行為を固く禁じます。その他不正行為等を含め、以上の内容について違反が確認されたときは、当該受験を無効とする場合があります。

(5) 試験会場内では、飲食物の外部からの持込みはできません。

3 第2次試験（全試験区分共通）

(1) 試験日 平成29年7月下旬～8月中旬

詳しい日程については、第1次試験合格者発表時に合格者に通知します。

(2) 試験科目・試験会場

試験科目	試験会場
面接、集団討論	第1次試験合格者発表時に合格者に通知します。

- ・ 第2次試験の配点は400点です。
- ・ なお、いずれかの試験科目において一定の基準に達しない方は、他の試験科目の成績にかかわらず不合格となります。

(3) 第2次試験の合格者発表 平成29年8月18日（金）（予定）

本庁舎掲示板（本庁舎北西角）に約1週間、合格者の受験番号を**掲示**するとともに合否を問わず受験者本人に**通知**します。また、名古屋港のホームページ（<http://www.port-of-nagoya.jp/>）でも同日午前10時頃から約1週間、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず掲示又は通知で確認してください。なお、電話等による合否に関する問い合わせにはお答えしておりません。

4 試験成績の開示

試験の成績については、口頭で開示を請求することができます。開示は、閲覧により行います。

請求できる人	開示内容	請求期間	請求方法
第1次試験不合格者	総合順位 総合得点 科目別得点	各試験の合格者発表の日から1か月間 ・ 9:00～12:00 ・ 13:00～17:15 (土・日・祝日を除く。)	受験者本人が①受験票及び②運転免許証、学生証等の身分証明書（写真のあるもの）を持参の上、総務部職員課人事係（本庁舎7階）において口頭で申し出てください。
第2次試験不合格者	総合順位 総合得点		

(注)・ 請求できるのは受験者本人のみです。代理による請求はできません。

- ・ 第1次試験及び第2次試験で受験しなかった試験科目のある方には、試験成績を開示することはできません。

5 受験手続

(1) 受験申込書の入手方法

配布場所	総務部職員課人事係（本庁舎7階）、名古屋港情報センター（本庁舎6階）
郵送で請求する場合	封筒の表に「 申込書請求 」と朱書きし、その中に、受験者のあて先、郵便番号、氏名を明記した返信用封筒（角形2号（A4判が入る大きさ）に120円分の切手を貼ったもの）を同封し、名古屋港管理組合総務部職員課人事係（〒455-0033名古屋港区港町1番11号）あてに請求してください。
名古屋港のホームページからプリントアウトする場合	名古屋港管理組合職員採用試験案内（ http://www.port-of-nagoya.jp/saiyou/nittei/index.html ）にアクセスし、ページ内にある「受験申込書のダウンロード」から、プリントアウトしてください。

(2) 申込方法

提出書類	・ 受験申込書、受験票及び写真票（本案内にはさみこんである指定の用紙又は名古屋港のホームページからプリントアウトした指定の用紙） ・ 受験者のあて先、郵便番号、氏名を明記した返信用封筒（23cm×12cm程度の定形封筒）に82円分の切手を貼ったもの
郵送申込み	期 間 平成29年 5 月19日（金）までの消印のあるものが有効
	送付先 〒455－0033 名古屋市港区港町 1 番11号 名古屋港管理組合総務部職員課人事係
	方 法 ・ 提出書類を角形 2 号封筒（A 4 判が入る大きさ）に入れ、封筒の表に「受験申込み」と朱書きしてください。 ・ 封筒の裏に受験者の住所及び氏名を必ず記入してください。 ・ 「受験申込書、受験票及び写真票」は<u>切り取らず、折り曲げない</u>で封筒に入れてください。 ・ 必ず簡易書留等記録の残る方法で郵送してください。 ・ 書類の記入内容等に不備がある場合は受理せず返送しますので、確実に記入の上、期限に余裕をもって申し込んでください。
持参申込み	期 間 平成29年 5 月12日（金）～平成29年 5 月19日（金） 9：00～12：00、13：00～17：00（時間厳守）
	場 所 名古屋港管理組合総務部職員課人事係 本庁舎 7 階 (自家用車での来庁はご遠慮ください。)
	方 法 提出書類を受付場所に持参し、申し込んでください。

- (注) ・ 「申込書等記入要領」を参照の上、記入もれ、記入誤りのないように確認をしてください。
・ 受験申込みは 1 人につき 1 つの試験区分に限ります。また、申込書提出後の試験区分の変更は認めません。

(3) 受験票の交付

郵送申込み、持参申込みとも平成29年 5 月31日（水）以降に受験票を郵送しますが、**平成29年 6 月 7 日（水）**までに受験票が届かない場合は、名古屋港管理組合総務部職員課人事係へお問い合わせください。

なお、受験票はこちらで切り取って封筒で郵送しますので、**あて先、郵便番号、氏名を記入した封筒（23cm×12cm程度の定形封筒に、82円分の切手を貼ってください。）を申込書とともに提出してください。**

6 申込書等記入要領

※欄以外のすべての欄について、下記の要領でもれなく正確に記入してください。

記入は申込者本人の自筆で、黒インク又は黒ボールペンを用いてください。

かい書で、略字を使用せず丁寧に記入してください。数字は算用数字を使用してください。

書き損じた場合は、二重線で抹消して余白に記入するなど、わかりやすく訂正してください。

記入欄が不足する場合には、その欄と同じ様式の紙に記入して貼り付けてください。

記入事項に虚偽、不正等があった場合には、合格を取り消すことがあります。

(1) 申 込 書

① 試験の種類

受験する試験の種類を記入してください。

② 試験区分

受験する試験区分名を記入してください。

申込みできる試験区分は 1 つで、申込書提出後の変更はできません。

③ 氏 名

略字を用いず、丁寧にかい書で記入してください。フリガナも記入してください。

④ 性 別

該当する性別を○で囲んでください。

⑤ 生年月日

生年月日及び**平成30年3月31日現在の年齢**を記入してください。

() 内には、西暦の下2桁を算用数字で記入してください。

⑥ 現住所

電話がある場合には必ず**電話番号**を記入してください（携帯電話等でも可）。

⑦ 現住所以外の連絡先

平日の昼間に急ぎ連絡を取りたい場合に、**現住所以外で確実に連絡が取れるところ（勤務先、携帯電話番号、伝言を依頼できるところ等を含む。）を必ず記入してください。**本人以外の場合は、その方の氏名と関係（家族、友人等）も記入してください。

現住所以外の連絡先に合格等の通知を希望する場合は、通知先希望の欄に○を記入してください。

⑧ 学歴

大学院・大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・専修学校の専門課程（おおむね昼間の2年制以上の課程のもの）等の学歴を、最終のものから順に2つ記入してください。

中途退学した学校、各種学校・受験予備校等は、「最終学歴取得後の経歴等」の欄に記入してください。

高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定試験）の合格については、「学校名」の欄に「高卒認定」（又は「大検」）と記入し、「在学期間」の欄に取得年を記入してください。

中学校及び小学校については具体的な学校名は記入せず、単に「中学校」、「小学校」と記入してください。「学部・学科・専攻等」の欄以降は、記入の必要はありません。

⑨ 最終学歴取得後の経歴等

最終学歴卒業後のすべての職歴等について、直近のものから順にもれなく記入してください。

アルバイト（在学中のものを除く。）や在宅等もすべて記入し、ない場合は空欄とせず「なし」と記入してください。

中途退学した学校、各種学校・予備校等はこの欄に記入してください。

記入欄が不足する場合には、適宜同じ様式の紙に記入して貼り付けてください。

⑩ 資格・免許

資格・免許について記入してください。なお、「取得（見込み）年月」欄には、取得（見込み）年月を記入してください。

⑪ 趣味・特技

趣味・特技について記入してください。

⑫ 写真

縦4cm×横3cmの同一の写真（6か月以内に撮影したもの）を2枚用意し、**写真の裏にそれぞれ試験区分・氏名を記入の上、申込書及び写真票にはがれないようにしっかりと貼り付けてください。**

撮影年月も忘れずに記入してください。

⑬ 署名

記入事項を確認の上、**申込者の自筆で署名**してください。**日付**も忘れずに記入してください。

(2) 写真票

試験の種類・試験区分・フリガナ・氏名を記入し、申込書と同じ写真をはがれないようにしっかりと貼り付けてください。

(3) 受験票

試験の種類・試験区分・フリガナ・氏名を記入してください。

受験票は、申し込み時に同封された返信用封筒（**受験者のあて先、郵便番号、氏名を明記した82円分の切手を貼ったもの**）に入れて郵送します。（これ以外の手法での受験票の返信は行いません。）

試験日時、試験会場は第 1 日目のものが印刷されています。

提出前のチェックポイント

- ☐ 受験申込書・受験票・写真票のすべてに記入もれはありませんか。(特に氏名・試験区分)
- ☐ 確実に連絡の取れる連絡先を記入しましたか。
- ☐ 裏面に試験区分・氏名を記入した同一の写真を申込書・写真票の 2 か所に貼りましたか。
- ☐ 82円分の切手を貼った封筒(受験者の郵便番号・住所・氏名を記入した23cm×12cm程度の定形封筒)を入れましたか。
- ☐ 申込者の自筆による署名をしましたか。

* 申込みできるのは 1 人につき 1 つの試験区分に限ります。また、提出後の変更は認めません。

* 記入内容に不備等がある場合は受理できないことがあります。よく確認の上、提出してください。

記入例（※印は記入不要）

平成29年度名古屋港管理組合職員第1回採用試験（大学卒程度）、名古屋港管理組合職員（海事）採用試験及び名古屋港管理組合職員（民間企業等職務経験者）採用試験受験申込書

※ H30.3.31現在の年齢を記入してください。

試験の種類	第1回	試験区分	事務 (行政)	フリガナ 氏名	メイコウ タロウ 名 港 太 郎	性別 (男) 女	生年月日	S・H 6年4月2日生 (19 94 年) 満23歳
-------	-----	------	------------	------------	---------------------	-------------	------	-------------------------------

現住所 (〒 455 - 0033)
名古屋市港区港町1番11号
電話 (052) 654 - 7847

現住所以外 (〒 455 - 0037)
の連絡先 名古屋市港区名港二丁目4番12号
電話 (052) 652 - 1965

学歴	学校名(小・中学校は具体名不要) (最終)	学部・学科・専攻等	所在地(市区町村)	在学期間	年制、卒業(見込み)
	港大学	法学部法学科	名古屋市港区	H 25 年 4 月から H 29 年 3 月まで	4 年制 卒業 卒業見込み (○で囲むこと。)
	(その前) 港高校		名古屋市港区	H 22 年 4 月から H 25 年 3 月まで	3 年制 卒業
最終	勤務先・学校名等 (直近)	所在地(市区町村)	所属部署・仕事内容・専攻等	内容(該当を○で囲む。)	期 間
	○×株式会社	名古屋市港区	総務課 課内庶務、経理	退職・ <u>在職中</u> ・在宅 卒業・在学中・中退	H 29 年 4 月から H 現在 年 月まで

資格・免許	取得(見込み)年月	趣味・特技	写真を貼る
私は、平成29年度名古屋港管理組合職員採用試験を受験したいので、試験案内の記載事項をすべて了承の上、申し込みます。			

平成29年 5 月 9 日	氏名(自筆) 名 港 太 郎	平成29年5月撮影
---------------	----------------	-----------

き り と っ て は い け ま せ ん 。

写 真 票

※		
試験の種類	第1回	写真を貼る
試験区分	事務 (行政)	
フリガナ	メイコウタロウ	
氏名	名 港 太 郎	

きり
と
っ
て
は
い
け
ま
せ
ん
。

受 験 票

受験番号	※	フリガナ	メイコウ タロウ
試験の種類	第1回	氏名	名 港 太 郎
試験区分		試験区分	事務 (行政)
試験会場	名古屋港管理組合本庁舎 名古屋港湾会館 平成29年6月25日(日) 午前8時45分開場 午前9時15分着席		

注意事項

- 1 受験の時は、必ず本票を持参の上、午前9時15分までに着席してください。
- 2 HBの鉛筆、消しゴム、時計(時計機能のみ)を持参してください。

5 試験会場内では、飲食物の外部からの持込みはできません。

7 最終合格から採用まで

- (1) 傷病等により職務に支障があると認められる場合などには、採用されないことがあります。
- (2) 採用は、原則として**平成30年 4 月以降**となります。
- (3) 受験資格がないことや受験申込書記載事項に不正があることが判明した場合には、合格を取り消すことがあります。
- (4) 日本国籍を有しない方で、採用日において、法令により永住が認められていない方は採用されません。

8 給 与

初 任 給 約202,000円

- (1) 初任給は、平成29年 4 月 1 日現在の給料月額に、地域手当を加えたものです。
- (2) この他、扶養手当、通勤手当、住居手当などの諸手当が支給されます。
- (3) 期末・勤勉手当が年 2 回（6 月・12月）支給されます。
- (4) 初任給は、学校卒業後の経歴に応じて加算される場合があります。

9 日本国籍を有しない方の採用後の配置等

日本国籍を有しない方の採用後の配置、異動、昇任などは、「公権力の行使」又は「公の意思の形成への参画」に携わる公務員となるためには日本国籍が必要であるという「公務員に関する基本原則」を踏まえ、次の(1)及び(2)に該当しない範囲で行われることとなります。

- (1) 公権力の行使に該当する職務
- (2) 公の意思の形成への参画に携わる職（例 ラインの課長級以上の職）

10 個人情報の取扱い

受験に際して提出された書類等は一切返却しません。なお、採用試験において取得した個人情報は、採用試験及び採用に関する事務以外の目的では使用しません。

11 採用試験実施結果

各試験区分の過去の実施結果です。

<第1回>

試験区分		平成28年度			平成27年度			平成26年度		
		受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
事務	行政	(人) 32	(人) 8	(倍) 4.0	(人) 71	(人) 8	(倍) 8.9	(人) 46	(人) 8	(倍) 5.8
技術	土木	11	4	2.8	5	3	1.7	9	4	2.3
	建築	2	0	—				2	1	2.0
	機械	3	1	3.0				2	1	2.0
	電気	4	1	4.0	3	0	—	3	1	3.0

<海 事>

試験区分	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
海事Ⅰ種 (航海)	(人) 1	(人) 1	(倍) 1.0	(人) 5	(人) 2	(倍) 2.5	(人) 3	(人) 0	(倍) —
海事Ⅰ種 (機関)	1	1	1.0	3	0	—	1	0	—

<民間企業等職務経験者>

試験区分	平成19年度			平成17年度		
	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
情報処理	(人) 7	(人) 1	(倍) 7.0	(人) 1	(人) 1	(倍) 1.0

12 試験会場案内図

第1次試験

第1日目・第2日目(※)試験会場

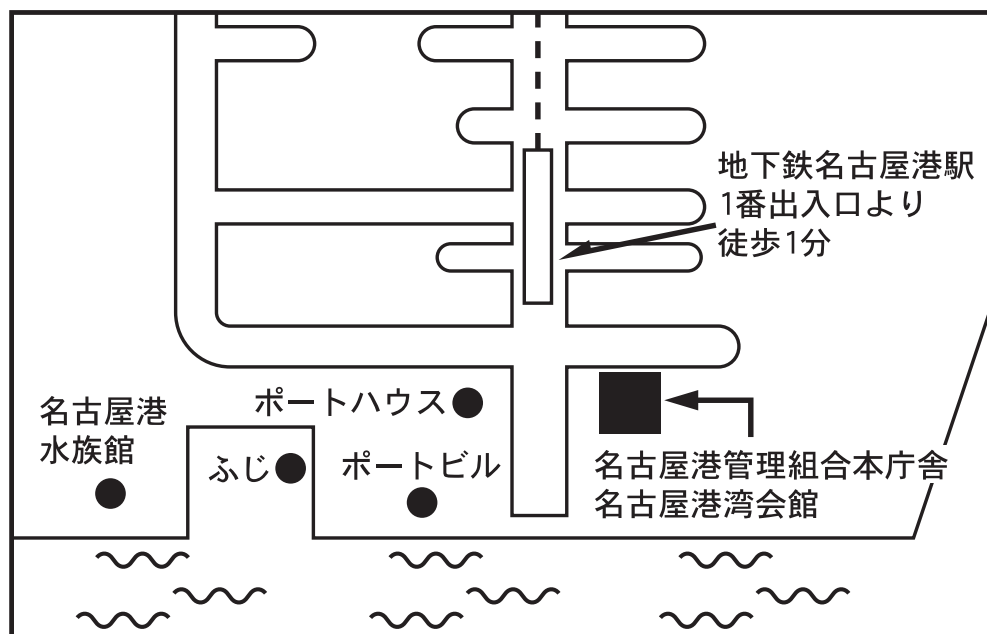
名古屋港管理組合本庁舎

名古屋港湾会館

(名古屋市港区港町1番11号)

[地下鉄名港線]

名古屋港 下車 1番出口



(※) 第2日目は、試験の種類が「第1回」又は「海事」の方のみ

13 名古屋港管理組合職員採用説明会について

名古屋港管理組合の仕事内容や魅力など本組合に関する理解を深めていただくために「平成29年度名古屋港管理組合職員採用説明会」を行います。

日 時	平成29年 5 月12日（金） 1 回目 12：45～15：15 事務（行政）／技術（土木） 2 回目 14：15～16：50 事務（行政）／技術（建築・機械・電気）／海事／民間企業等職務経験者（情報処理）（予定）
場 所	名古屋港湾会館 第2会議室 ※試験会場案内図を参照してください。
対 象	・平成29年度名古屋港管理組合職員第1回採用試験（大学卒程度）受験希望の方（昭和62年 4 月2日以降に生まれた方） ・平成29年度名古屋港管理組合職員（海事）採用試験受験希望の方（昭和57年 4 月2日以降に生まれた方） ・平成29年度名古屋港管理組合職員（民間企業等職務経験者）採用試験受験希望の方（昭和52年 4 月2日以降に生まれた方）
申 込 方 法	インターネットによる事前申込が必要です。 名古屋港管理組合職員採用試験案内 http://www.port-of-nagoya.jp/saiyou/setumeikai/index.html）にアクセスし、「名古屋港管理組合職員採用説明会」の「平成29年度開催案内」から申込みを行ってください。 
申 込 期 限	平成29年 5 月 8 日（月）17：00まで
内 容	名古屋港管理組合の概要、採用試験について、個別ブースによる相談会など

この説明会への参加の有無が採用試験に影響することはありません。

試験会場付近は駐車が困難です。自家用車での来庁はご遠慮ください。

問 い 合 わ せ 先

名 古 屋 港 管 理 組 合 総 務 部 職 員 課 人 事 係

〒455-0033

名古屋港区港町1番11号（本庁舎7階）

TEL (052) 654-7847（直通）・661-4111（代表）

FAX (052) 654-7990

名古屋港のホームページ<http://www.port-of-nagoya.jp/>



発行所 名古屋港区港町1番11号

名古屋港管理組合